

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



2015~2016年度 No.205

2月 月報

那須クラブ会長 主題
拓こう 築こう ワイズの世界

強調月間：T O F

那須ワイズメンズク



1月例会（新年例会） 1月20日(金) 於：岡繁

2016~2017年度 主題
国際会長：(IP) Joan Wilson (カナダ)
「私たちの未来は、今日より始まる」
アジア地域会長：(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)
「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事：(RD) 利根川 恵子(川越)
「明日に向かって、今日働こう」
北東部長：長岡 正彦(もりおか)
「明日のために、今土台を築こう」

クラブ役員 事務局
会長：田村 修也
副会長：村田 榮
河野 順子
書記：荒井 浩元
会計：鈴木 保江
担当主事：荒井 浩元
ブリテン：田村・村田

1月例会データー(出席率：83.3)
在籍者 6名
例会出席者 5名 ネット 3名
ピジター 1名、

今月の聖句
わたしは良い羊飼いである。

ヨハネによる福音書10:11

東京目黒クラブ 那須クラブ
2月 Happy Birthday
なし 2/12 村田 榮ワイズ

巻 頭 言

副会長 河野 順子

今年の寒中はことのほか寒さが厳しいと感じるのは、やっぱり歳のせいと実感しています。殊にこの一週間は、気温も低く関東地方といえども日中でも1℃という日もありました。このような身も心も寒いと思われる厳冬に朗報がありました。私の所属している訪問看護ステーション協議会の会員の一人が、読売地域医療功労賞を受賞したのであります。この賞の趣旨は、辺地、離島などの貢献した者への賞であります。今回は、日光で訪問歯科診療をしておられる歯科医師と那須地区で訪問看護ステーションを起業した看護師の2名でした。栃木県としましてはどちらも観光地でありながら影の部分に辺地があります。推薦者として表彰式に同行しましたが、そこで彼女のあいさつを聞きますと、この数日で数人の高齢者が自宅で亡くなられたということです。雪道を夢中で車を走らせても帰りは雪が深くて、その家族が「車を置いて行って明日取りに来てください」と言うくらいですが、夜11時過ぎであっても車をもっていけないと、この後いつ在宅で最期を迎えようとしている人から連絡があるか分からないので、恐る恐るゆっくりと雪道を帰ったと。また、ある日若いおにいさんがステーションに訪ねて来られたけど、ステーションの誰もその人を知らないので、「何か御用ですか」と尋ねましたら、「僕は〇〇の息子です。お宅の訪問看護を受けていて、親父は喜んでいました。自宅で家族のみんなに見守られて逝きました。僕は牛の世話をいつもしていたので看護師さんに会えなかったけど感謝しています。」と。ステーションのスタッフは、そのぶっきらぼうな挨拶に^{まこと}真の感謝があることに感激して涙したとの挨拶でした。高齢者による医療費の増大は日本経済を圧迫していることは周知のとおりです。高齢者は長い年月酷使した体が悲鳴を上げているので致し方ありません。昔から生病死老死が避けて通れないのであれば、自分の体と心を最終時期にどこに置くか、つまり自分の最後はどのような過ごし方をするかが問われると思います。そしてそれは、自分の一番希望していること(QOL)、満足した生活を過ごすことにあると思います。

施設を良しとする人、病院が良いと思う人、自宅が良いと思う人それぞれでしょうが、今の日本の統計では、可能であれば《自宅》を選択してい

る人が多いのです。【地域包括ケアシステム】という耳慣れない言葉が、保健・医療・福祉関係では真剣に検討されています。国が、県が、これからは自治体を中心になって「住み慣れた地域で」「自分らしい暮らしを」「医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される」整備を進めています。いろいろ難しいことはあるでしょうが、私も出来る限り多くの皆さんの知恵やお手数をかけて、住み慣れた我が家で最期を迎えたいと思っています。今年は終活をするという心構えが必要かと思っています。周りにある社会資源を有効に活用しながら。

1月例会(新年例会・今年の抱負を語る)報告

書記 荒井 浩元

日 時：1月20日(金)午後6時～

場 所：大田原市山の手1丁目「岡繁」

参加者：メン：田村会長、河野副会長、村田副会長、原田、荒井。メネット：田村、原田、村田。ビジター：塩澤達彦とちぎY総主事(宇都宮)

2017年最初の例会、1月新年例会が大田原市にある『岡繁』で行われました。雪が降っており車の移動が心配でしたが、みなさん無事に到着し、例会を始めることができました。最初に、開会点鐘と食前の感謝を行い、乾杯し会食・歓談を行いました。例会中は美味しい食事を頂きながら、新年例会恒例の今年一年の抱負を語ったり、メンバーの近況報告をしたりしました。また、昨年に引き続き、今年のワイズやYMCA、地域の活動の発展・展望などを熱く語り合い、新年最初の例会に相応しい大変実りのある時間を過ごすことができました。

2017年の皆さんの抱負を簡単ではありますがご紹介いたします。

田村メン：93センチのズボンが履けるように。ワイズメンバーの次世代を育てていく。夫婦で健康に、神様に与えられたものを大切にします。

田村メネ：来年の新年例会では田村メンが93センチのズボンが履けるようになったと報告ができるようにすること。健康でいたい。

河野メン：健やか。今年みんなまで田村メンのズボンを！

村田メン：健康の『健』。クラブメンバーの増強を。

村田メネ：健康第一。まずは自分自身が楽しく。那須ワイズが続いていきますように。

原田メン:旧約聖書通読(詩篇までは読みました)。みなさんと仲良く元気に。

原田メネ:健康を改めて意識し、頑張って維持させる。習い事を始めました。

塩澤総主事:とちぎYMCA40周年(2018年)に向けて準備を。YMCAで作られたご縁で活動が出来ればいいな。Association元年。

荒井:30歳を迎えるために身体のメンテナンスと心の準備。YMCA運動をより確実に活発に。

例会が始まる前に12月例会での参加者の皆様からの会費・献金の残金3,800円をYMCA



国際協力募金のために田村会長より塩澤総主事に捧げました。

1月役員会報告

日時:1月6日(金)18:30~

場所:ココス西那須野乃木店

出席者:田村会長、河野副会長、村田副会長、田村メネット、協議事項

1. 1月の新年例会は、1月20日(金)午後6時から。場所は、大田原市山の手1丁目3-9にある「岡繁」。内容は、新年を語る。出席者の確認は、田村会長。

2. 2月例会の件

CS公開講演会例会とする。日時、2月23日(木)午後6時~、場所、西那須野教会集会室。講師、白井愛海(那須赤十字病院 認知症認定看護師)。演題、認知症を正しく理解しましょう。会費、会員のみ500円。夕食、カレーをYMCAリーダーにお願いする。お米とじゃがいも、村田が準備。お皿とスプーン、村田が購入。司会、河野。チラシ作成、田村、河野。出席者の確定、1週間前に田村。

4. 2月役員会について

2月9日(木)午後6時30分よりココス西那須野乃木店にて開催する。

協議内容は2月例会、3月例会、その他、ブリテンの原稿

5. その他

・後期半年報、1月10日(期限)

・国際会長投票、昨年末に済。

・次年度役員、現行のまま。

・次次期東日本区理事・監事の推薦、特になし。

・那須YMCA20周年に合わせて、設立メンバーによる宇都宮から栃木全体へのYMCAのひろがりについての座談会の開催はどうだろうかとの提案が田村会長よりあった。

・シイタケ昆布の購入を1月20日までに行う。

・ワイズ会計報告、村田より行う。

・卒業リーダーの人数の確認。

旧西那須野(那須西原)の緑と水(47回)

田村修也

上京した印南、矢板の二人は、神田区小柳町の三河屋という旅宿に宿を定めました。そしてその翌日から、文字通り東奔西走、政府要路の高官をはじめ在京の名士で何か縁故のあるものは、次から次へと訪問して、那須野が原の開拓と、大水路開削の必要を熱意と誠意を尽くして陳情して廻りました。この陳情活動によって、政府当局も認識を多いに深めるとともに、その他多くの知名の人々も、大いに同情を寄せるようになりました。しかしながら容易に目的を達するまでには至りませんでした。そのうち歳末になったので、一先ず陳情活動を中止して、11月28日、在京50余日で郷里に引き揚げることになりました。年が改まって明治17年になりました。この頃日本全国の経済界は、非常の不況に陥り、農産物の価格も大暴落を来たし、従いまして、農民の窮乏は甚だしいものとなりました。このために、那須開墾社におきましても、株主の殆どが農民のため、株主の払い込みが滞りがちになりまして、開拓経営が非常な困難になり、首脳者である印南、矢板の苦心は容易なことではありませんでした。しかしながら水路開削のことも急がなければならないので、5月3日、次のような願書に、三島通庸県令の内申書を添えてもらい、これを携えて、陳情運動を再開するため、第2回目の上京の途につきました。

水路開削ノ儀ニ歎願

下野國那須郡細竹地内、那珂川ヨリ、塩谷郡氏家駅地内、鬼怒川ニ達スル通水路ノ儀ニ付イテハ、明治12年已来、奉懇願候通りニ有之、其後那須原モ続々、拝借人出来、漸次開墾ニ着手候得共、如何セン水利ニ乏シク、深井ヲ鑿ツモ、飲用水ニ

引足不申、到底人生必要ノ水利ヲ欠キ候テハ、該原モ依然荒蕪ニ委スルノ外他事無之、甚以歎ケ敷次第に付、該原開墾人ヨリ、再三懇願ノ末、国費御多端ノ中、巨額ノ金員ヲ以、飲用水路御開鑿相成、為メニ、各所ニ分配、漸ク目下ノ渴ヲ凌ズヲ得、偏に御仁恵ノ程奉感載候、然ルニ、今日ノ水量ニテハ、今後移住致候モノヘ、分配スルコト不能ハ勿論、牛馬飼育等ニ至リテハ、到底引足不申、真ニ遺憾ノ至リ奉存候、元来当地方ノ人民は、智識未低度ノ点ニ居リ、西洋農具ヲ以テ、耕作致候様ノ儀ハ、先以知ラザルモノノ如ク、若シ其便ヲ知ルモ、其ノ機械ヲ求ムルノ資力ナキハ勿論、固有ノ農事ニ非レバ、生活致シ難キモノノ、様相心得、是非水田ニ依ルヲ主眼トシ、目下移住スルモノノ精神ハ、他日大水路開鑿出来セバ其ノ水ニ依テ、以テ勃興セントスルノ見込ニ外ナラザル儀に有之、旁以該原ニ水路ノ必要ナルハ、私共ノ喋々ヲ俟タズ、故ニ曩ニ其御筋ヘ御上申モ被下置、客年中、疏水御掛ノ実地御見分モ相濟候ヨリ、人民ノ渴望尚一層相増シ、今ヤ御着手ノ事ト、一日三秋ノ思ヲ為シ、御沙汰耳御待申候次第候、加之、該水路ノ末流ヲ箒川ニ合セ、夫ヨリ鬼怒川ニ通ズル運河ヲ開鑿致シ候ハバ、当地方ノ物産ハ勿論、東北地方ノ物産ニ至ル迄、悉ク此ノ水路ニ依テ、直チニ東京ニ達スル事ヲ得、此舉ニシテ果シテ其功ヲ竣ヘバ、一万余町ノ曠原ハ一朝變シテ善良ノ水田トナリ、沿河ノ物産ハ、為メニ其利ヲ増シ、僅々一条ノ水流ニ依テ、起ル所ノ利益実ニ尠少ニアラザルヤ明ナリ、然レドモ、説ヲ作スモノ、或ハ曰ハン、輓近鐵路ノ敷設アリ、何ゾ迂遠ナル運河ニ、巨額ノ金ヲ投ズルヲ用ヘンヤト此説一理アルモノノ如クニ早得共、必意汽車ニ載スル所ノ物貨、運河ヲ以運ブ処ノ物貨ト、自ラ差異アルモノニ有之候ハ、衆人熟知スル所ニ有之、旁水利ハ殖産興利ノ道ニ於テ、実ニ必用的ノモノト確信罷在候条、何卒前陳ノ至情御洞察ノ上、速ニ其筋ヘ御上申被下置、御聞届被成下候ハバ、独兩郡ノ幸福ノミナラズ、亦以テ国家ノ幸慶ト奉存候、依一同連署ヲ以テ、血注奉歎願候也。

明治17年5月

下野国那須郡

那須開墾社惣代	滝沢嘉平治
三島村惣代	田上 貞質
東肇耕社惣代	堀 三義
青木開墾社惣代	俵田 閑作
共墾社惣代	蟹江 太平
塩谷郡村々人民代表	矢板 武

那須郡村々人民代表 印南 文作
栃木県令 三島通庸殿

内 申

本県下、下野国那須郡那須開墾社惣代滝沢嘉平治外7名ヨリ、那須原野へ、水路開鑿ノ儀ニ付、別紙ノ通願出候。右ニ付テハ、先ニ及上申候次第モ有之、又御省ニ於テ、已ニ掛官員ヲ派遣シ、実地ノ御取調ニモ相成候間、夫々御詮議中トハ存候得共、本願ノ切望尤ニ有之、且此事業タルヤ、独リ那須塩谷兩郡人民ノ幸福ノミナラズ、将来国益上大關係ヲ有シ候儀ニ付、財政御多端之際ニハ候得共、特別ノ御仁許ヲ以テ、至急御採納御着手相成度、此段及内申候也。

明治17年5月7日

栃木県令 三島通庸

農商務卿 西郷従道殿

大蔵卿 松方正義殿

以上の請願と、酢でに添えた三島県令の内申書を受取った西郷農商務卿は、次のような伺書ヲ三条太政大臣に提出致しました。

(以下次号へ)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園

理事長・園長 福本光夫

「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずです。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます」

(聖書 コリントの信徒への第一の手紙 10:13)

高校時代 漫画ちばてつや賞入選。漫画家を目指すが、その後、「面白いものが全然 作れなかった」ので断念。

18歳 プロレスラーを目指しFMWに入団。レフリー採用の為、「プロレスラーになれないんじゃない意味が無い」と退団。

24歳 俳優を目指し、劇団東俳に入団。「滑舌が悪い」といわれ、「役者にも向いていないと思ひ」、退団。

26歳 バラエティー番組を観て、芸人になろうと決意。人気に火がつく。

40歳 体も壊し、人気もかげり、芸人を辞めることを決意。辞める日を決める。

彼はその後、吉幾三さんのカラオケビデオに、パラパラ漫画を描く企画で、ドタキャンした芸人の代わりにはいり、評価され。パラパラマンガの仕事依頼が増えて、再ブレイク。仕事がある限り続けることを決意。東スポ映画大賞カムバック賞受賞する。

彼とは、ご存じのとおり、「振り子」、「約束」、「アフターマス」等、パラパラマンガと言ってよいのかわかりませんが感動を与える作品の制作者で、お笑い芸人の鉄拳さんです。保護司の月刊誌「更生保護(日本更生保護協会)」、2017年1月号の巻頭言に鉄拳さんが、「いつも心に太陽を」という題で、過去を振り返りながら今の自分について綴っておられました。

芸人なるときに大好きなプロレスラーの格好で「格好はいかついけれど、しゃべると滑舌の悪い芸人をやったら面白いのではないかと考えた」、「漫画家、プロレスラー、俳優という3つの挫折が合体したからこそ、今の僕があるのです」、「僕の人生は挫折の連続です。3つの職業以外にも、いろいろな経験をしてきました。傷ついたり、嫌な思いをしたことなどが頭に残っていて、制作中にふっと浮かんでくるのです」と述べてます。また、彼は、小さい頃、罪を犯したが、家族、学校の先生、友人にすごく支えられ、立ち直ることができた。その何十年も前の経験を活かし、失敗してもやり直せる社会に協力したいと結んでいます。彼は2016年に「社会を明るくする運動」への功績で、法務大臣から感謝状を贈られた。

子どもたちも、これから成功体験を積み重ねるだけではなく、失敗して、打ちひしがれそうになることもあるかもしれない。そんなとき、いつも子どもを信じ寄り添って下さい。みんなで支え合いましょ。これからは正解のない時代です。その場・その時の適解が大切です。失敗は良いことととらえることこそが適解の基になります。

神様は、神を愛する者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さいます。

・「振り子」

<https://www.youtube.com/watch?v=EB19So6SNe0>

・「約束」

<https://www.youtube.com/watch?v=n08TkE-HdDA>

・「アフターマス」

https://www.youtube.com/watch?v=YkB9a_DR-7A

今後の予定

・第2回東西日本区交流会

“語ろう！未来につなぐワイズスピリット！”
日時：2月4日(土)14:00～5日(日)昼食後解散

場所：日本YMCA同盟東山荘

登録費：13,000円

・2月役員会

日時：2月9日(木)午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：2月例会、3月例会、4月例会、3月号ブリテンの発行等。

・2月例会(CS公開講演会)

日時：2月23日(木)午後6時～

場所：日本基督教団西那須野教会集会室

講師：白井愛海(那須赤十字病院 認知症認定看護師)

演題：「認知症を正しく理解しましょう」-基礎を学び、事例を皆さんで分かち合いましょう-

社会福祉法人 エルム福祉会だより

エルム福祉会 蜂巢小珈琲店

施設長 川上 聖子

スタッフからお客様へのメッセージ

「4月にオープンして、早いもので8か月になろうとしています。私は、喫茶店でアルバイトをしたり、勤務したりすることもなかったので、入所当時は、果たして続けて勤務することが出来るのだろうかとても不安な毎日を送っていました。私に与えられた仕事は、カフェのトイレ掃除、カウンター内の清掃、カトラリーの準備、デザートディスプレイの準備、ウォーターの準備とその提供、ウェルカムドリンクの提供、デザートのデコレーションというとても重要な役割を任せられました。初めは、職員の先生方のご指導の下、失敗を重ねる毎日でした。本当に自分の適性にあった仕事なのだろうかと疑問に感じたこともありました。しかし、お客様が、「今日のケーキはとてもおいしかった」「今日のジェラートはとても冷たくておいしかった」という声を、レジでの支払いが終わってから「ありがとうございました」とお客様にお礼を言うたびにいただいた言葉にとても

感動し、励まされ、やりがいを感じるようになりました。アンケートを見させていただいても、栃木県内ばかりでなく、県外からも口コミや雑誌、ネット、フェイスブックなどをみて、遠方はるばるこの喫茶店に足を運んでくださる方も多く、感謝の念に絶えません。今、私は、心がけて実践していることが1つあります。これは、ノートルダム清心女子大学理事長の渡辺和子さんの書いた本から学んだことなのですが、カトラリー1つ1つつくる時に食事を楽しんでいただけるお客様の笑顔を思い浮かべ、おいしく召しあがれるよう祈りを込めてカトラリーを作るということです。なかなか自分の思った通りに実践することは難しいのですが、自分なりに一生懸命やっており、これからもずっと続けていくつもりです。また、私のデコレートしたデザートのカキは、まだまだデコレートが不十分でこれからも日々技術の向上に努めていくつもりですが、何人かのお客様がスマホやデジカメで写真を撮影しておられます。自分の作った作品が写真に撮られるというのはなんとも恥ずかしい限りですが、撮られても、また、ネットに拡散されても恥ずかしくないようこれからも努力するつもりです。私は、接客係ではないので、お客様と一対一で会話をすることは少ないと思いますが、常にお客様の事を考え、自分の与えられた役割を果たし、この蜂巢小珈琲店に来店してよかった、また、ぜひ来店したいという気持ちを抱かせるよう精進していきたく思います。お客様に支えられての1年でした。たいへんありがとうございました。地域の光として輝く、この蜂巢小珈琲店を何卒よろしくお願ひいたします。」(T.S)

このメッセージを読んで本当にうれしく思いました。スタッフの成長が感じられます。障がいがあっても、自分の役割・居場所があるということは本人を成長させるのだと実感しております。このスタッフは、入所直前の3月に洗礼を受けました。神様の支えと働きに感謝です。

学校法人 アジア学院だより

学校法人 アジア学院
校長 荒川 朋子

アドミニストレーションの反対語(1)

皆さんはアドミニストレーション(Administration)という言葉をお使いになりますでしょうか。最近はこれを短くしてアドミニなど

ということもありますが、「経営」「運営」「管理」などという訳が当てられます。

アジア学院のある理事会で、一人の理事が「アジア学院では、アドミニの職員数とそれ以外の職員数の割合はどうなっていますか」という質問がありました。私は少し考えて、農場と教務に関わる職員以外をアドミニ職員と呼ぶとすれば、半々くらいですと答えました。その時はそれ以上の話には発展しなかったのですが、この質問をした理事と別の理事の間で、「ではアドミニの反対語は何か」というやりとりがその後あったことを聞かされました。考えるところがありましたので、内容をかいつまんでご紹介いたします。

理事A：さて先生(理事B・牧師)のご質問、アドミニの反対語は何かとのことですが、残念ながら単語では思い当たりません。ですから

Non-administration(非アドミニストレーション)とかPoor administration(劣悪なアドミニストレーション)という表現はありえても、アドミニストレーションという概念に反対語は存在しないのではないのかと考えます。しかし概念で言えば反対語は、「人が人らしく生きて行くために必要とするものを作り出すこと」と小生はアジア学院に来てから長い間思ってきました。この時、アドミニの概念は、組織運営とか管理とはちょっと異なって理解することになります。

例を挙げて分かりやすく言うのであれば、例えば銀行や証券会社やその種の業務を行っている人々と農民、職人の対比が思い浮かびます。世の中は、農民が何もないところから、全霊をあげて作物を育て人の命を養うものを育て生産します。職人は、鉄の塊から精魂を傾けて、機械を削り出し人の幸福に奉仕し、そこに価値を創造します。

一方銀行や株の売買は、こうした無から価値あるものを生み出したその結果を、金を貸したり投資したり売買したりして、利益を生み出します。小生は(修正)資本主義を肯定する者ですから、これらの金融組織の機能を決して否定するものではありませんが、現実には人が汗水を流して作り出した価値ある生産物を、投資や貸金の対象にし、もともとの生産者より遥かに多くの富を得、更にはその価値を生み出した人々を尊敬するどころか、見下しさえしているのです。

金融機関の存在、機能を否定するものではありませんが、少なくとも彼らが仕事することが出来るもともとの価値を生み出した人々への尊敬と謙遜があつて然るべきと考えるのです。しかし現実

は、僅かな金をあくせく働いて稼ぐより、コンピュータの前で、手を汚さずに多額の金を稼ぐ方が賢いと言わんばかりの価値観が横行しているのです。これは本末転倒と言わざるをえません。

このことをいつも頭において、土と共に生きる途上国の農民たちに、あなた方は主から与えられた何にも代えがたい尊い仕事をしているのだというメッセージを、卒業生が伝えてくれることを願ってきました。

このメールに、質問をした理事Bからは以下のような返事が送られてきたということでした。ところで、この理事Bは牧師であります。

理事B：アドミニの反対語とまでは行かないのですが、私は敢えて言うならば「霊性」と言いたいと思っています。役人の業務にはこれがありません。この流れがすべてのことに浸透して行くのを恐れます。私は、牧師としてあらゆることの中に、霊性を主張していきたいと思っています。もちろんアドミニの中にもです。対立する概念ではなく、それを補完するものとして考えたいと思っています。

皆さんはどう思われますか。「あらゆることの中に、霊性を主張していきたい。もちろんアドミニの中にも。」という理想は、アジア学院のように信仰に基づいて設立された組織では特に大切にしなければならないことだと思っていますが、限られた資源の中で仕事を効率よく進めていかねばならない現実の中では、なかなか実現の難しいことも事実です。しかし一方で、効率を優先させれば、人間性や人権が失われていくこともまた事実です。仕事に人間らしい側面はなくなっていき、労働者はお金を生み出すだけの道具と化してしまいます。どうやったらアドミニの中にも霊性を保っていいのか。難しい質問です。

この続きは、次回に書きたいと思います。

YMCA 報告

【とちぎYMCAウィンタープログラムが終了しました！】

12月下旬よりスタートしました、とちぎYMCAウィンタープログラム（キャンププログラム・日帰りプログラム・スキープログラム・ウェルネスプログラム・イングリッシュプログラム）が予定通り実施され、無事に終了いたしました。沢山の子どもたちが参加し、プログラム中、有意義な時間を過ごし、貴重な体験を重ねることができま

した。ユースボランティアリーダーも各プログラムに参加し、それぞれの役割の中で子どもたちと向き合い、共に過ごしました。YMCAのプログラムにはCaring（やさしくする）、Honesty（しょうじきになる）、Respect（人を大切におもう）、Responsibility（できることは自分からする）というYMCAで大切にしている4つの想いが込められています。プログラムの様々な場面で、子どもたちがそれらを感じ考えてくれたらとても嬉しく思います。また、その経験が子どもたちを成長させ、日々の生活で活かされることを願い、今後もプログラムを展開していきます。



【那須YMCA卒業リーダーを祝う会を開催します！】

出会いと別れの季節が近づいてきました。3月5日（日）に、今年の春に大学を卒業する那須YMCAのユースボランティアリーダーにYMCAに奉仕して下さった感謝を込めて『卒業リーダーを祝う会』を開催したいと思います。第一部ではYMCAからの感謝の時間、第二部では、後輩リーダーが開催する感謝の時間となります。是非、リーダーたちの素敵な時間を共に過ごしていただければ幸いです。

※今回卒業を祝う対象リーダーは、下記の11名です。

- ・笠間 脩平（しゅうまいリーダー・男） 国福大/医療福祉マネジメント学科
- ・滝田 直輝（いもにリーダー・男） 国福大/医療福祉マネジメント学科
- ・太田 晃平（チャンリーダー・男） 国福大/視機能療法学科
- ・八木澤 亜季（やぎリーダー・女） 国福大/作業療法学科
- ・高橋 佑梨（はしゅりリーダー・女） 国福大/作業療法学科
- ・菅野 里佳（めいりリーダー・女） 国福大/作業療法学科
- ・飯沼 芹阿（せありリーダー・女） 国福大/放射線・情報科学科
- ・高津戸 佑騎（つんつんリーダー・男） 国福大/視機能療法学科

- ・宮田 匠（たっくんリーダー・男） 国福大/
放射線・情報科学科
- ・塚本 貴大（かとうリーダー・男） 国福大/
医療福祉マネジメント学科（現在・社会人）
- ・馬場 信人（ばばちゃんリーダー・男） 国福
大/視機能療法学科（現在・社会人）

【みらくるプロジェクト・ユースリーダーズアク
トが開催します。】

とちぎYMCAユースボランティアリーダー有志
が企画運営するみらくるプロジェクト（北東部ユ
ースリーダーズアクト）が開催されます！是非ご
都合がよろしければご参加ください！

みらくるプロジェクト
福島の子もたちと一緒に笑顔！
～今、私たちにできること～
(北東部ユース・リーダーズ・アクト2016)

福島の子もたちを笑顔にするためには・・・？
今回のイベントを通して各々が新たな発見をし、仲間づくりをしませんか？ゲストスピーカー
のお話を聴きせひ、アクションを起こしてみてください。

宇都宮大学 国際学部 中村 祐司 教授
宇都宮大学 宇大UP 小原 保隆 氏

日 時：2017年2月26日（日）10：00～16：00
場 所：藤井産業株式会社 東館3階会議室 ※駐車場あり
対 象：栃木県内の高校生以上の方
参加費：500円（お弁当代含む）
定 員：先着80名

申し込み
締切
2/10
(金)

主催：ワイズメンズクラブ国際協会東日本区北東部
公益財団法人とちぎYMCA
協力：トチギみらくるギフト
後援：下野新聞社/栃木よみうり/宇都宮ケーブルテレビ（申請中）
2017.1.18版

【とちぎYMCA・那須YMCAの2月の予定】

- ・2/4（土） サタデークラブ@なす高原自然
の家（雪遊び）
- ・2/5（日） ワンデイスキー@エーデルワイ
ススキー場
- ・2/11（土） サタデークラブ@なす高原自然
の家（雪遊び）
- ・2/12（日） Yキッズ@なす高原自然の家（雪
遊び）
- ・2/18（土） サタデークラブ@福田いちご園
（いちご狩り）
- ・2/25（土） サタデークラブ@福田いちご園
（いちご狩り）
- ・2/25（土）～2/26（日） 北東部ユース
リーダーズアクト

（とちぎユースボランティアリーダー有志が企
画運営）

ユースリーダーのつぶやきコーナー

1. 名前（リーダー名） 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCA
に入ったきっかけは？ 5. 思い出に残った活動とそ
の理由は？ 6. 今後の進路は？ 7. YMCAに一言

1. 金安理香（ヤン）
2. 白鷗大学
3. 新潟県
4. OBの「のりしおり
リーダー」が募集のチラ



シを配って行ってみたいと思いました。
5. YMCAで初めての活動である夏の3Daysで
す！子どもたちの接し方や活動に対する想いをディ
レクターやリーダーからたくさん教えてもらい
ました。ヤンがギターを始めようと思ったきっか
けもこの3Daysです！

6. 新潟県に戻り、保育士として働きます。
7. 私にとってYMCAは新しい自分に出会える
場所でした。

1. 伊藤綾音（ねっち）
2. 白鷗大学
3. 山形県
4. ヤンが先に始めていて、



話を聞いて、楽しそうだと思いYMCAに来まし
た。実習以外で子どもと関わる機会があればと。
5. 野外活動にもたくさん出て思い出に残ってい
ますが、特にと言われるとフィリピンの被災地支
援に参加したことです。

6. 山形県に戻り、保育士として働きます。
7. 出会いやつながりを大切に。たくさんのリーダ
ーがこれからも活躍していくことを願っています。
3年間ありがとうございました。

集めています

年賀はがきの3等、年賀切手をワイズで集めてお
ります。是非皆様のご協力をお願いします。
2016-2017年ロースターの62ページに
運用規定が掲載されております参照ください。
年賀はがきの3等の当籤番号は、下2桁。51,
45です。

那須ワイズメンズクラブ 2月例会のご案内

『認知症の予防と対策について』

講演会のご案内

「82才の4人に1人が認知症！」

「加齢による物忘れ」と「認知症」のちがいを御存じですか。

もしかしたら認知症？その時どこに相談すればよいかご存知ですか。認知症は他人事ではありません。

この度、那須ワイズでは、那須日赤病院の白井愛海先生を講師にお迎えして、「認知症を正しく理解しましょう」と題して、ご講演と懇談会を開催することにいたしました。立春を過ぎたとは言えまだまだ寒い中、また、ご多用の時間ではありますが、又とない機会でありますので、万障お繰り合わせの上、お誘い合わせの上、御出席下さいますよう、ご案内申し上げます。

なお、夕食は、YMCAのリーダーによるカレーライスが準備されております。

白井先生は、皆様ご存じのように、那須日赤病院の認知症認定看護師さんとして、ご活躍中ですので、医療、介護等について何でもご相談いただけます。

記

○日 時：2017年 2月23日（木）午後6時から

○会 場：西那須野教会1階ホール

○講 師：那須赤十字病院 認知症認定看護師 白井愛海先生

○講演題：認知症を正しく理解しましょう。

○入場料：無 料

○夕 食：那須YMCAリーダーの食事が準備されます

○主 催：那須ワイズメンズクラブ 会 長 田村修也

那須YMCA 運営委員長 田村修也

○申込み期限：夕食準備の都合がありますので、2月20日（月）までに、田村までご連絡お願い致します。

携帯電話番号090-5545-6763